

## マルチコイル型(インテリジェント)ECTの主な特徴について

		特 徴
プローブ構造(構成)		円筒形の構造。 検出コイル、電子回路収納ユニット等で構成されている。
仕  様	検出コイル	センサーコイル ・全周に12組×2段(計24組)のコイルを配置している。 ・1組2個のコイルはほぼ密着しておりコイル間の距離はほとんどない。 コイル径 ・コイル径は従来のものに比べて約1/4以下である。
	検出精度	接近した2個の小さなコイルの差で検出することから以下のことができる。 ・減肉の形状によらず、深さ20%前後の減肉が検出できる。 ・検出されたものに対し、深さ評価精度は±5%である。
	深さ評価精度	
付属設備構成		プローブ案内ユニット、探傷器等
構造上の特徴		<div style="text-align: center;"> <p style="text-align: right;">マルチコイル型(インテリジェント) ECTセンサー (検出コイル)</p> <p style="text-align: center;">(1組のコイル) 接近した2個のコイルの 差で検出</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【特徴】</b> 各組2個の接近したコイルからなっており、これらのコイルの信号の差で減肉を検出することから、以下の特徴がある。 ・伝熱管表面状態によるノイズレベルが低い。 ・減肉による渦電流の変化を局所的にとらえることができる。</p> </div>